

平成17年度 全学共通経費使用計画について

全学共通経費は、「京都大学の基本理念」に沿って本学の教育研究や社会貢献を一層発展させるため大学として支援が必要である事業等に対して措置する経費である。

本年度においては、教育研究環境の整備、教育研究活動支援及びキャンパスライフ支援等下記のとおり使用を計画するものである。

記

1. 教育研究環境整備

約5.8億円

学内の情報インフラの整備や個性的で多様な発展に資するキャンパスの整備、教育研究環境を向上させるための整備など、大学として支援することで、教育研究の活性化が期待できる環境整備計画に措置する経費

2. 教育研究活動支援

約1.2億円

全学的に取り組む教育改革、ファカルティ・ディベロップメント等の推進、競争的資金の事務処理支援など、大学として支援することで教育研究の活性化が期待できる教育研究活動計画に措置する経費

3. キャンパスライフ支援

約0.6億円

メンタルヘルスケア関連の整備や快適で豊かなキャンパスライフに寄与するための整備等、大学として支援することで、魅力ある大学づくりが期待できる計画に措置する経費

4. 国際交流の推進

約0.6億円

国際的な大学間交流や京都大学国際シンポジウム、教職員の海外研修、外国人研究者等の教育研究活動支援、海外留学関連事業、留学生受入関連事業など、大学として支援することで、本学の個性や特色が発揮される計画に措置する経費

5. 社会貢献・連携支援

約1.0億円

広報活動や講演会開催、シンポジウム開催、オープンキャンパス開催、知的財産権の取得・維持管理に係る費用等、大学として支援することで、本学の活動に対する社会への周知や理解の深化、ならびに社会への貢献や産業界等との連携の促進などが期待できる計画に措置する経費

6. 大学図書館の活動支援

約0.4億円

中・長期的な視野のもと、大学の図書館として教育・研究に資することができる計画に措置する経費

7. 患者サービスの充実

約0.4億円

病院アメニティの質の向上など、患者サービスの充実を大学として支援することで、医療の安全性の確保、快適な院内環境の実現などが期待できる計画に措置する経費

総額 約10億円

※ 全学共通経費措置の経緯

平成13年3月6日開催の拡大部局長会議において、本学の発展・充実の観点から学内で措置する必要がある経費等に対して使用するものとして承認された。